

森記念財団都市戦略研究所：連続シンポジウム 第4回

都市の魅力

持続可能で魅力的な国土形成を目指して

参加費 **無料**
定員 **100名**

要申込、先着順

日時

6月30日(金)

14:30-16:30 (14:00開場)

会場

経済センター 8階 Aホール

札幌市中央区北1条西2丁目

<https://www.sapporo-cci.or.jp/web/purpose/01/access.html>

登壇者



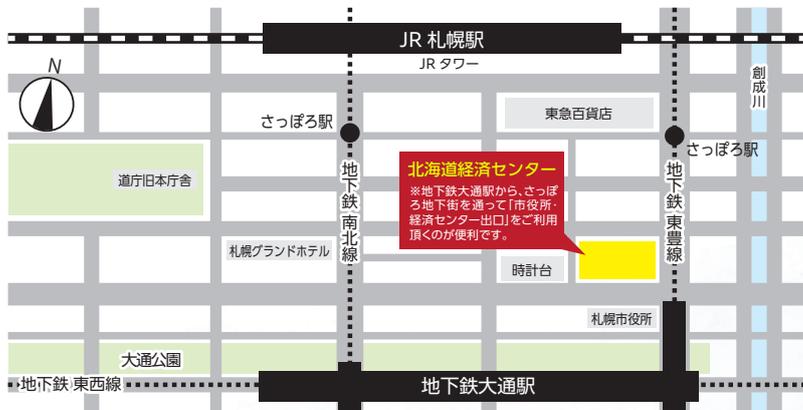
明治大学名誉教授
市川 宏雄



札幌市まちづくり政策局
都心まちづくり推進室長
稲垣 幸直



株式会社 commons fun
代表取締役/
博士(デザイン学)
林 匡宏



参加申し込み ▶

<https://forms.gle/bvmjka77Mnr3cWxF8>



お問い合わせ ▶

iusall@mori-m-foundation.or.jp

※会場でのマスク着用は、各自のご判断をお願いいたします。

主催：森記念財団 都市戦略研究所

後援：札幌市

● 趣旨・目的

世界の総人口が今後も増加を続けていくと予測されている一方、日本では少子高齢化および急速な人口減少が見込まれている。そのような状況に直面してもなお、日本全体が活力を保ち続けるためには、各都市がそれぞれの“特性”を活かしながら都市づくりを進め、人や企業を惹きつける「磁力」と、魅力や強みを継続的に発揮し続ける「発展性」を維持していかなければならない。そのためには、各都市が現在の都市の魅力、歴史的・文化的・地理的なコンテキストも含め

て客観的に把握した上で、次の時代に向けた都市戦略を立案し、実行にしていくことが求められる。

そこで、当連続シンポジウムの第4回目は、文化・交流で高い評価を得た国内有数の観光都市である札幌市が、今後どれだけ都市の魅力を高めていけるのか。そして、どのような戦略で都市の未来像を描き、特に公共的空間をどのように活用していくのかについて、札幌市で活躍されている都市の専門家とともに様々な側面から議論する。

● スケジュール

🕒 14:30-15:00

市川 宏雄

「日本の都市特性評価 2022」
によって明らかになった札幌
市の魅力と課題

🕒 15:00-15:30

稲垣幸直・林匡宏

札幌市の魅力と課題、過去・
現在・未来を見据えて魅力を
伸ばすための施策は何か

🕒 15:30-16:15

パネルディスカッション

課題を解決するためにすべき
ことは何か、各アクターの
役割とは

🕒 16:15-16:30

質疑応答

● 登壇者略歴

市川 宏雄

明治大学名誉教授、森記念財団業務理事

1947年東京に生まれ育つ。早稲田大学建築学科卒業後、同大学院を経てカナダ政府留学生としてウォータールー大学大学院博士(Ph.D.)。富士総合研究所主席研究員の後、1997年明治大学政治経済学部教授(都市政策)。公共政策大学院ガバナンス研究科長、専門職大学院長を経て2018年より現職。

都市間競争が進む世界の第一線の都市研究家と協働して、世界都市総合力ランキング(GPCI)を森記念財団都市戦略研究所で2008年から発表し、2018年より日本の都市特性評価(JPC)も開始。東京都の政策策定には30年以上も関り、現在の小池都政では「東京と日本の成長を考える検討会」「国際金融都市・東京構想に関する有識者懇談会」などのメンバーとして、東京の国際競争力向上のための施策への提言をしてきた。

政府、東京都、特別区の政策委員・委員長など歴任し、大都市政策研究機構理事長、日本危機管理防災学会会長、日本テレワーク学会会長、など要職多数。専門は次世代構想、危機管理など多彩。都市政策に関する第一人者としての著作は30冊以上。

稲垣 幸直

札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室長

1969年大阪府生まれ、北海道育ち。北海道大学工学部建築工学科卒業、同大学院工学研究科建築工学専攻修士課程修了。1994年札幌市役所入庁、2016年都市計画課長、2018年札幌駅交流拠点担当部長を経て、2019年より現職。

これまで主に都市計画やまちづくりの部門に在籍し、「札幌市都市計画マスタープラン(2004年)」「真駒内駅前地区まちづくり指針(2013年)」「札幌市景観計画(2017年)」「札幌駅交流拠点まちづくり計画(2018年)」などの計画策定のほか、用途地域等の全市見直し(2006年、2019年)、地区計画や都市再生特別地区の決定など、土地利用に関する具体の都市計画の決定等を手掛ける。

現職では、2030年度の新幹線開業を控えて再開発が活発化する都心部を所管し、まちづくりとエネルギー施策の一体的展開を図っている。

林 匡宏

株式会社commons fun代表取締役/博士(デザイン学)

1983年大阪府吹田市生まれ。2008年筑波大学大学院デザイン研究科終了後、株式会社北海道日建設計に入社。2018年札幌市立大学博士後期課程を修了し独立。専門はエリアマネジメント/プレイスメイキング。議論内容をその場でイラスト化する「コミュニケーション・ドローイング」という手法を用いて、国内外26都市の都市開発や地域再生のビジョン構築とその実現に向けたコミュニティ形成を担い、社会実験をプロデュースする。多拠点で活動する傍ら、渋谷区役所では公園等整備アドバイザーとしてPark-PFI等公民連携事業を担当し、江別市役所では地域プロジェクトマネージャーとして観光協会の自走化を推進。

札幌市では公共空間活用の官民連携組織SAPPORO PLACEMAKING LABOを設立。また同市教育委員会高校コンシェルジュとして高校と地域・企業をつなぐプロセスデザインと仕組みの構築を担う。3児の父。ラグーマン。